

編集 後記

公衆衛生学はその時代の健康課題に即応した研究が行われる実学といえる分野と思います。本号の内容を見ても、高齢化社会に関する論文、健康増進法を受けての禁煙や地域保健に関する貴重な学術報告が掲載されています。この内容から推測しても、会員の皆様によってわが国の健康問題を解決すべく、積極的な公衆衛生活動が行われていることが理解でき、心強い限りです。

本号には、今年度の日本公衆衛生学会総会に関する案内が掲載されています。学会活動は一人でも多くの方が学会員として参加することと学術交流の場である雑誌を育てていくことと思います。日本公衆衛生雑誌は既に第51巻を数えており、わが国の公衆衛生活動の貴重な学術記録となっています。さらに本号には、英文誌に関する投稿規定が掲載されています。国内で行われた貴重な学術経験を諸外国に発信することが要求される時代になったものと考えています。わが国の公衆衛生活動の成果を世界に発信するためには、これからの英文誌を活用頂ければと期待します。

編集委員会では、貴重な学術報告を迅速にかつ透明性のある査読編集体制で審査をして、学術誌としての情報発信機能を高めていくことが常に検討されていますので、多くの投稿論文が寄せられることを期待しております。
(吉田勝美)

次号予告

総説

肝臓移植の医療経済学評価に関する文献的考察
—わが国における肝臓移植の社会的容認に向けて—……………石田晃造, 他

原著

在宅介護の状況および介護ストレスに関する介護者の性差の検討……………杉浦圭子, 他

短報

未成年者喫煙防止対策評価のための成人式における喫煙率調査の試み……………関 奈緒, 他

公衆衛生活動報告

地域の健康問題に関する保健師による事業創出のプロセスと方策
—課題設定と事業案作成の段階に焦点を当てて—……………吉岡京子, 他

資料

京都市難病患者の実態調査結果の検討
……………板垣泰子, 他

第17回日本循環器病予防セミナー案内

実行委員長：中村好一（自治医科大学公衆衛生学教授）

講師・受講生：講師18名，受講生50名（循環器予防学に燃えている医師，大学院生・研究生，
コメディカルを歓迎します。公募の上決定しますが基本的に早い人を優先いたします。）

期 日：平成16年7月2日（金）～7日（水）

会 場：那須オオシマフォーラム（栃木県那須郡那須町大字湯本205）

主 催：社団法人日本循環器管理研究協議会，財団法人日本心臓財団

セミナーの内容：疫学方法論，循環器疾患1次予防に関する講義，具体的な1次予防対策
（研究計画立案のグループワーク）

受講料：セミナー費用，食事代（3食）込みで5万円

受講申込み：受講を希望される方は，所定の申込用紙にて4月30日までに事務局に申し込んでください。5月末日までに選考の上通知いたします。申込書は事務局（日本循環器管理研究協議会）まで請求してください。

事務局（申込み・問合せ）：社団法人日本循環器管理研究協議会

〒170-0013東京都豊島区東池袋 1-48-10 25山京ビル305号

Tel. 03-3989-0680 Fax. 03-3989-0953